

「アメリカオニアザミ」の駆除にご協力を

町では、自然と共生する美しい生活環境づくりを進めるため、町民と行政が一体となった環境や景観の保全に取り組んでいます。外来種は、地域の生態系に生ずる被害を受ける原因となりうることから、被害を防止する観点からも実態調査や駆除が行われています。



●アメリカオニアザミとは

アメリカオニアザミは、ヨーロッパ原産のキク科の多年草植物です。日本には北米から移入したと考えられており、町内でも生育が確認されています。

全身にとっても鋭いとげを持ち、繁殖力が非常に強いことから、人や動物がケガをしたり、在来植物への影響が懸念されています。

そのため、環境省・農林水産省により、生態系被害防止外来種に指定されています。

アメリカオニアザミに関する情報

(国立研究開発法人国立環境研究所侵入生物データ)

<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80470.html>



●特徴

- ・開花時期は7月～10月ごろ
- ・花の色は薄い赤紫色
- ・葉の全体に固く鋭いとげがある



●駆除のポイント

1. **花が咲く前**に（種子を付ける前の対策が効果的です）
2. **根っこごと**（多年草なので、根が残っていると再生してしまいます）
3. **厚手の手袋**と**スコップ**などを利用（とげが鋭いため、手で引き抜くよりもスコップなどで**周辺の土ごと掘り返す**ことをお勧めします）
4. 駆除後の**種子の飛散にも注意**を（駆除した個体をそのまま放置しておくと種子が飛散することもあるため、「燃えるごみ」として処分するようお願いいたします）



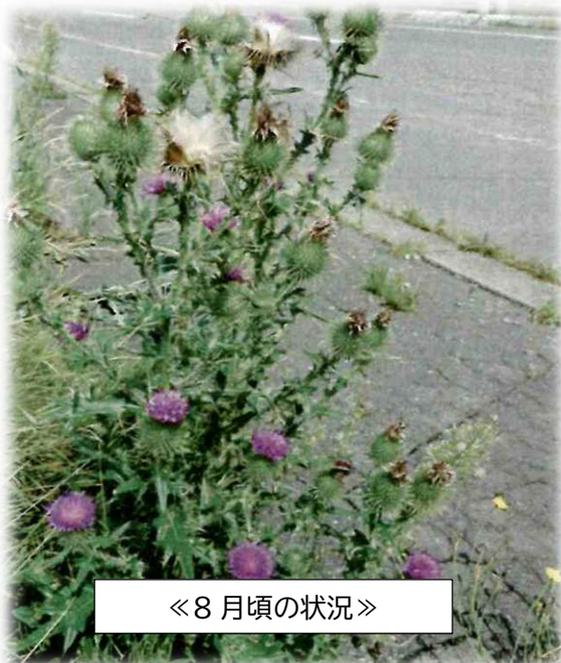
4月～5月頃

根生葉は、ロゼット状でタンポポの葉に似ており区別しにくいですが、葉のには硬い短毛とギザギザの鋭いトゲがあります。



6月頃

茎の高さは 0.5～1.0mくらいに成長します。茎はよく分岐し、葉や茎の大きさと比較すると小さめの頭花を株の上部に密集させて咲かせます。



7月～8月頃

紅紫色の花が咲き発見しやすくなります。タンポポのような綿毛がついた種が空中に舞い上がり風に飛ばされ、広範囲に拡散され、爆発的に増えていきます。

